

評価担当者	課名	氏名	内線
	建設課	高野 裕之	1280

コード	Ⅲ-8-15	施策名	防災・減災のための整備
施策の方針	災害に強いまちをつくる		
まちづくりの方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)		
施策の目的	自然災害からまちや市民の生命及び身体を守るため、防災・減災対策の充実を図ります。道路・港湾・河川・ため池・急傾斜地の対策・上下水道施設など、災害に備える防災・減災対策としての整備を行います。また、地域住民と協働で危険区域及び避難場所や避難路の確認を行い、災害発生時の住民の適切な避難行動及び被害の軽減につなげます。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災マップの作成により、危険箇所や河川警戒区域などの周知を行います。</li> <li>● 災害発生時に住民自らが適切な避難ができるよう避難誘導看板などの設置を行います。</li> <li>● 防災・減災対策としての道路・港湾・河川・ため池・上下水道施設などの環境整備を行います。</li> <li>● 臼杵市内の保全人家5軒未満の急傾斜地崩壊危険箇所を整備します。</li> </ul>		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標 上段：当初 下段：現在		
			単位	H26	H27	H28	H29		H30	
急傾斜地崩壊対策事業の整備率		要望箇所に対する整備割合(市単独事業分)	目標	%		8.0	26.0	31.0	39.0	46.0
			実績	%	8.0	8.0	23.0	37.0		
			達成率	%	-	100.0%	88.5%	119.4%		
危険箇所などの表示看板の設置箇所数		土砂災害や危険箇所のうち、看板を設置した箇所数	目標	箇所		50	90	90	90	80
			実績	箇所	40	90	90	90		90
			達成率	%	-	180.0%	100.0%	100.0%		
ハザードマップを作成した「ため池」箇所数		警戒ため池27箇所のうち、ハザードマップを作成した箇所数	目標	箇所		2	4	6	16	8
			実績	箇所	1	3	3	8		21
			達成率	%	-	150.0%	75.0%	133.3%		
			目標	%						
			実績	%	-					
			達成率	%	-					
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						

指標の分析

急傾斜事業については、今年度台風18号災害に伴い、緊急に4か所の追加を行いました。ため池のハザードマップ作成については、国の補助制度の活用により、5箇所を作成し、目標を上回る結果になりました。避難誘導看板の設置については、平成27年度で完了です。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(H29調査)	維持領域	2.68	1.85	2.05
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。</p> <p>住民とのワークショップにより作られた、ため池のハザードマップは、減災のための住民周知には有効な手段と考えられますので、今後も引き続き作成していきたい。</p>			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	市民の生命と財産を守るための急傾斜崩壊対策事業については、年次計画で、県補助金を活用し実施をしています。対策の要望箇所が多く早期の工事着手が望まれています但对応が出来ていない状況にあります。平成29年度においては台風18号被害に対応した事業実施が行えました。ため池のハザードマップ作成については、今後も引き続き、国の補助制度を活用ながら、人命や財産を守る必要があります。
-------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1	市町村急傾斜地崩壊対策事業	建設課		28,701	42,000	14,000	継続	○	
2	農村地域防災減災事業	農林振興課農林基盤整備室	○	—	5,002	9,030	継続	○	
3	避難場所等看板設置事業	総務課防災危機管理室		—	500		完了		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				28,701	47,502	23,030			

<施策の今後の展開 ～担当課長評価>

進捗状況	課長評価
<p>概ね順調</p> <p>急傾斜地崩壊対策事業の整備には、県補助金が不可欠であり今後も県に対して強く要望を行うとともに受益者（負担金）や地権者への理解を求めて計画的に実施していきます。ため池のハザードマップの作成は、県との連絡調整を密にして有利な補助金制度の活用と、ワークショップ等による地区住民の啓発を行います。各種の看板設置について、津波避難場所看板を浸水域となる95行政区を中心に設置を行いました。今後は過去に設置した避難誘導看板等の老朽化に伴う更新と新規要望箇所への設置が必要となります。</p>	<p>目標を達するため、現状維持とする</p>

<施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）>

進捗状況	内部評価
<p>概ね順調</p> <p>急傾斜地崩壊対策事業の整備には、県補助金が不可欠であり今後も県に対して強く要望を行うとともに受益者（負担金）や地権者への理解を求めて計画的に実施していきます。ため池のハザードマップの作成は、県との連絡調整を密にして有利な補助金制度の活用と、ワークショップ等による地区住民の啓発を行います。各種の看板設置について、津波避難場所看板を浸水域となる95行政区を中心に設置を行いました。今後は過去に設置した避難誘導看板等の老朽化に伴う更新と新規要望箇所への設置が必要となります。</p>	<p>目標を達するため、現状維持とする</p>

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終>

評価のコメント	外部評価
<p>今後も継続してハザードマップの作成を進めていってほしいため「維持」とする。</p>	<p>維持</p>

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

<p>防災・減災対策として、ハザードマップ等のソフト対策を行うことにより、災害の未然防止又は被害の最小化を図り、地域の防災安全度の向上に努めていきます。</p>
--